



健康寿命日本一を目指す

主担当部局：健康福祉部



奈良県健康ステーション（王寺）

目指す姿

県民が住み慣れた地域で安心して健やかに暮らしながら、要介護となる人や若くして亡くなる人を減らし、健康寿命の延長が図られる健康長寿県を目指します。



●平成34年度までに、県民の健康寿命(65歳平均自立期間)を男女とも

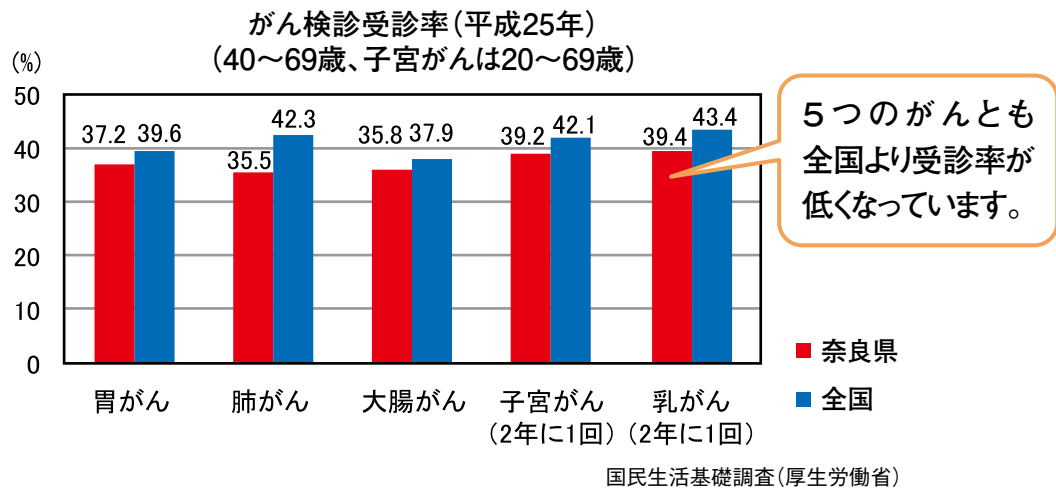
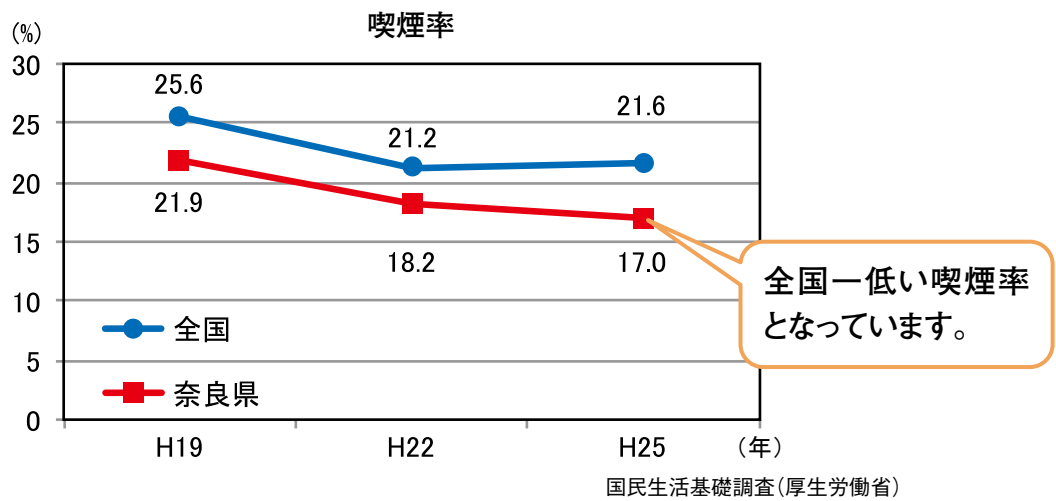
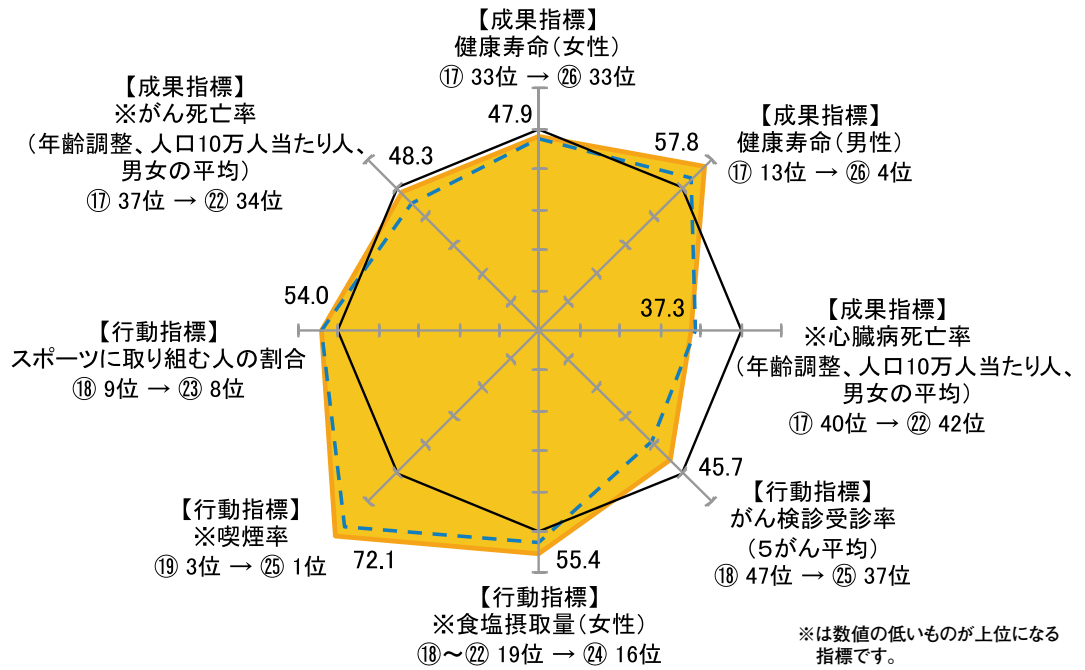
日本一

にします。

(平成25年 男性：13位、女性41位)

分析

■ 主な指標



戦略1

健康寿命日本一を達成するため、健康的な生活習慣の普及を進めます。

主担当課：健康福祉部 健康づくり推進課

戦略目標

- ▶ 平成34年度までに、成人県民の喫煙率を9.9%に減少させます。
(平成23年：14.2%)
- ▶ 平成34年度までに、食塩摂取量を8gに減少させ、野菜摂取量を350gに増加させます。
(平成23年：男性11.6g、女性10.1g(食塩) 295g(野菜))
- ▶ 平成34年度までに、運動習慣者の割合を50%以上にします。
(平成23年度：35%)

取り組み

たばこ対策の推進

減塩対策・野菜摂取の推進

運動普及の推進

健康寿命の延長に関する健康指標の市町村別把握と評価の実施



げんえもん
(奈良県減塩キャラクター)



奈良県健康ステーション (橿原)

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
たばこ対策の推進				
◎未成年者禁煙支援相談窓口の設置	相談窓口継続、協力医療機関の拡大			
◎受動喫煙防止対策の推進	公共的な空間の禁煙化の実態把握、対策の推進			
◎喫煙者に対する禁煙支援	インターネット禁煙マラソンの無料提供			
	市町村へのリーフレット配布、リーフレットを活用した禁煙支援			
減塩対策・野菜摂取の推進				
◎高血圧者を対象にした減塩教室の推進	市町村への「減塩研修プログラム」の普及、減塩教室の推進			
◎野菜摂取の推進		市町村毎の食塩及び野菜摂取量調査		
	減塩対策に併せた野菜摂取の推進			
運動普及の推進				
◎健康ステーションの設置促進	橿原・王寺ステーションの充実	運営方式の見直し・実施		
	市町村での設置促進のための支援			
◎おでかけ健康フェスタの開催	事業内容等の見直し・実施			
健康寿命の延長に関する健康指標の市町村別把握と評価の実施				
◎健康寿命の延長に関する健康指標の把握	なら健康長寿基礎調査の実施、国及び県関係統計データの分析			
		中間評価のための調査		
◎健康寿命の延長に関する健康指標の評価	なら健康長寿文化づくり推進会議の開催、専門家等による戦略的政策提言			
◎健康寿命の延長に関する健康指標の市町村別把握	状況把握・作成・公表			

戦略2

特定健診受診や介護予防などに取り組む人を増やし、要介護状態になる人を減らします。
 主担当課：健康福祉部 健康づくり推進課

戦略目標

- ▶平成29年度までに、**特定健診受診率(国保)及び特定保健指導利用率(国保)を60%以上にします。**(平成23年度(国保)健診:25.1% 保健指導:14.2%)
- ▶平成34年度までに、**65歳から74歳の要介護認定者の割合を減少させます。**(平成23年9月末:4.11%)
- ▶平成34年度までに、**20歳以上で歯科医師による定期的なチェック(1年に1回)を受けている人の割合を男女とも50%以上にします。**(平成23年度:男性33.0%、女性39.6%)

取り組み

特定健診受診及び特定保健指導利用の推進

介護予防の推進

県・後期高齢者医療広域連合の共同実施による高齢者の健康づくりの推進

歯科口腔保健の推進



なら歯と口腔の健康づくりフェスティバル



健康増進計画とデータヘルス計画についての市町村等研修会

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
特定健診受診及び特定保健指導利用の推進				
◎市町村職員に対する研修会の開催		事業内容の充実・研修会を開催		
◎健康・医療情報を活用した保健事業の実施計画(データヘルス計画)の策定支援		市町村向け研修会、ヒアリングの実施、全市町村データヘルス計画を策定	データを活用した事業展開	
介護予防の推進				
◎「スマホ」を活用した健康づくり・生活支援の推進	システム化検討・構築		市町村での本格導入	機能(アプリ)の充実
◎市町村の介護予防に対する支援		地域づくりによる介護予防実務者研修会・事例検討会の開催		
◎高齢者スポーツ文化交流大会(愛称「ならシニア元気フェスタ」)の開催		「ならシニア元気フェスタ」の開催		
県・後期高齢者医療広域連合の共同実施による高齢者の健康づくりの推進				
◎市町村と連携し、口腔ケアや運動・栄養に関する指導・普及啓発及び健康づくりの取り組み研究の実施		取り組み方策研究	地域巡回指導・普及啓発	
歯科口腔保健の推進				
◎歯科口腔保健に係る知識普及と意識啓発		「歯と口腔の健康づくり週間」等の機会に実施		
◎市町村における取り組みの推進		管轄保健所による取り組みの評価・技術的支援		
		特定健診で発見された糖尿病患者等に対する歯科口腔保健指導等の実施		

戦略3

疾病の早期発見や医療体制の充実などにより、65歳未満の死亡率(早世)を減らします。 主担当課：健康福祉部 健康づくり推進課

戦略目標

- ▶平成34年度までに、65歳未満の死亡率を男性193人、女性103人(人口10万人当たり人)以下に減らします。(平成23年：男性215人、女性115人(人口10万人当たり人))
- ▶平成29年度までに、がん検診受診率50%を目指します。(平成22年度：胃がん29.3% 肺がん20.2% 大腸がん24.7% 子宮がん35.7% 乳がん35.7%)

取り組み

がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患の医療対策の推進

自殺予防啓発の推進と市町村相談機関等の人材育成

行政、保険者、企業等の連携によるがん検診の推進



「がん検診を受けよう！」奈良県民会議

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患の医療対策の推進				
◎専門的医療を提供する体制の強化	協働、推進			
◎糖尿病診療に関する専門医とかかりつけ医(非専門医)との連携	検討、協働、推進			
◎脳卒中、急性心筋梗塞等における役割分担、連携ネットワークの推進	地域連携パス確立			
自殺予防啓発の推進と市町村相談機関等の人材育成				
◎ゲートキーパーの養成と相談支援体制の充実	市町村等での実践			
行政、保険者、企業等の連携によるがん検診の推進				
◎「がん検診を受けよう！」奈良県民会議の活動促進	活動促進			
◎がん予防推進員の養成	3団体(各保健所で実施)	市町村で展開		
◎がん検診受診率向上対策の推進	モデル実施(9市町)	効果の認められた対策に取り組む市町村を支援		

これまでの成果

★がん検診受診率向上をめざし、**がん検診の個別受診勧奨・未受診者再勧奨**を9モデル市町で実施しました。

平成26年度に開発した**禁煙支援リーフレット**を11市町村の特定健診やイベントなどで**約2,800部**配布しました。

平成26年度に開発した「**高血圧の人のための減塩教室実施マニュアル**」を活用した**モデル事業**を3市町村で**実施**しました。

★榎原と王寺に設置した**2カ所の県営の健康ステーション**を引き続き**運営**するとともに、**市町村営の健康ステーション設置促進**のため、市町村説明会を開催し、設置に意欲的な市町村へ**アドバイザー**を派遣しました。

山間部高齢者などの健康づくりや見守りなどに役立つ「**生活支援スマホ**」を開発しました。

平成27年11月7日に**おでかけ健康フェスタ**を開催しました。(参加者:約4,100人)

主な指標の動き

■よくなっている指標

健康寿命(男性)

16.79年 (平成17年 全国13位)  **17.93年** (平成26年 全国4位)

男性の健康寿命は延長し、全国順位も上昇しました。

健康寿命(女性)

20.03年 (平成17年 全国33位)  **20.65年** (平成26年 全国33位)

全国順位は横ばいですが、女性の健康寿命は延長しました。

※がん死亡率
(年齢調整、人口10万人当たり人、男女の平均)

152.3 (平成17年 全国37位)  **138.7** (平成22年 全国34位)

がん死亡率は減っており、全国順位も上昇しました。

※心臓病死亡率
(年齢調整、人口10万人当たり人、男女の平均)

72.0 (平成17年 全国40位)  **65.0** (平成22年 全国42位)

心臓病死亡率は減っていますが、全国順位は低位置にあります。

※は数値の低いものが上位になる指標です。